

地球科学概論第 5 回課題

62115799

平井優我

(1) 月が遠ざかるにつれて地球の自転は遅くなり、1 日の時間も長くなる。現在の月と地球の距離は約 38 万キロ。約 2 万キロの時代は、1 日の長さが約 4 時間ほどだったといわれている。自転を鈍らせる月が完全に無くなってしまうと地球は超高速で自転をはじめ、1 日の長さは今の約 3 分の 1。時速数百キロの強風や砂嵐が吹き荒れる。そして、1 億年に 1 度の確率で地球に隕石が衝突し、その度に大量絶滅が発生する。

(2) 授業ありがとうございました。惑星のでき方について知ることができてよかったです。